



気持ちのよい季節になってきました

5月には連休もあったはずなのに、ただただ走り切った1ヶ月となりました。今年度が始まってまだ2ヶ月しか経っていないことに驚かされます。田んぼに水が入り、少しづつ田植えがされて、カエルの鳴き声が響くようになり、季節が大好きな夏に向かって行っているのも感じます。先日、公民館の2階でミーティングをしていたら、子どもたちの声が聞こえてきました。幼稚園児たちがお散歩の途中で公民館前の芝生で自由に過ごしているだけで嬉しくなるから不思議です。私もたまに、お昼ご飯を芝生のテーブルで食べたりしています。

まだまだ肌寒い日も続いているですが、体調にはお気をつけてお過ごしください。

5月に取り組んだこと

5月は、いろいろな場面で対話を通して「想い」や「方向性」について、みんなで考える機会が増えたように思います。

子どもたちのための「えらべる放課後」をつくる

0-15教育基本構想の中には、「これから話し合っていきたいこと」の1つに「子どもたちの放課後のこと」があります。4月から、地域学校協働本部を中心に話し合いを始めています。どんなことが話し合われているかというと、子どもたちが学校が終わったあとに過ごす場所や過ごし方を「選択」できるような環境をつくれないか?ということです。例えば、過ごし方として「あそぶ」「スポーツする」

「学習する」など大きなカテゴリーに分けて、各カテゴリーで「持続可能な場」がいくつかつくれたら、その中から子ども自身が選択していく様になるのではないか。と考えました。

そこでまずは「現在すでに磐梯町に存在する活動を整理して、地域学校協働活動推進員で定期的に継続できる場をつくってみよう」ということになりました。

例えば、「あそび」と「ばんだいキッズスポーツ」を推進員の活動として参加費無料で行われるようにしてみる、ということから始めてみることになりました。

この活動は、ただ選択できれば良いということではなく、安全安心であることも重要なことで、移動手段も含めて検討していく予定ですが、大人が勝手決めていくだけでなく当事者である子どもたちの声も聞いていなければと思っています。中学校の部活の地域移行についても並行して検討して参ります。進捗をまたご報告いたします。

その1



【あそび】

「放課後あそぼーよ会」

昨年度第一小学校の保護者の活動から始まった活動。校庭や体育館で月2回程度実施できるように地域学校協働活動推進員と共に運営しています。



【スポーツ】

「ばんだいキッズスポーツ」

保護者が中心となって任意団体として行われていた活動。幼稚園の遊戯室で、確実に月2回程度実施できるように地域学校協働活動推進員が運営します。



【学習】

「まなびときばんだい」

交流館の交流スペースと廊下部分を活用して、集中して学ぶ場と、誰かと話しながら学ぶ場を地域おこし協力隊が中心となって提供しています。

みんなが安全安心に遊ぶにはどうしたらいい?



地域学校協働本部の会議で検討中



第1回会議
note



第2回会議
note



市民体育館・市民運動場 平日9:00~17:00の空き状況			
市民体育館		市民運動場	
午前	午後	午前	午後
開放中	開放中	使用中	開放中

公民館入口に体育館と運動場の空き状況が設置されました！

今年度から公民館施設の利用料が町民は無料化されたことから、町民体育館と町民運動場について平日9時から17時で予約が入っていない時は自由に利用できるようになりました。早速遊びに来てくれている小中学生の姿が見られ、個人的にはとてもウキウキしています。ご利用いただく時は公民館窓口にご連絡をいただければ大丈夫です。（小学3年生以下の児童のみで遊ぶ場合は保護者同伴でお願いします。）自由に遊びに来てくれる方が嬉しい反面、大人たちが少しだけ心配しているのは、「子どもたちの中には使い方のルールを守れない人もいるのではないか?」ということでした。でも「まずはやってみよう！」と思ってます。そして、「なぜ町民体育館でボールを蹴ることが禁止されているのか」「小中学生が一緒に安全安心に遊べるようにするにはどうしたらいいか」をぜひ遊びに来て、見て、考えてみてほしいなと思っています。

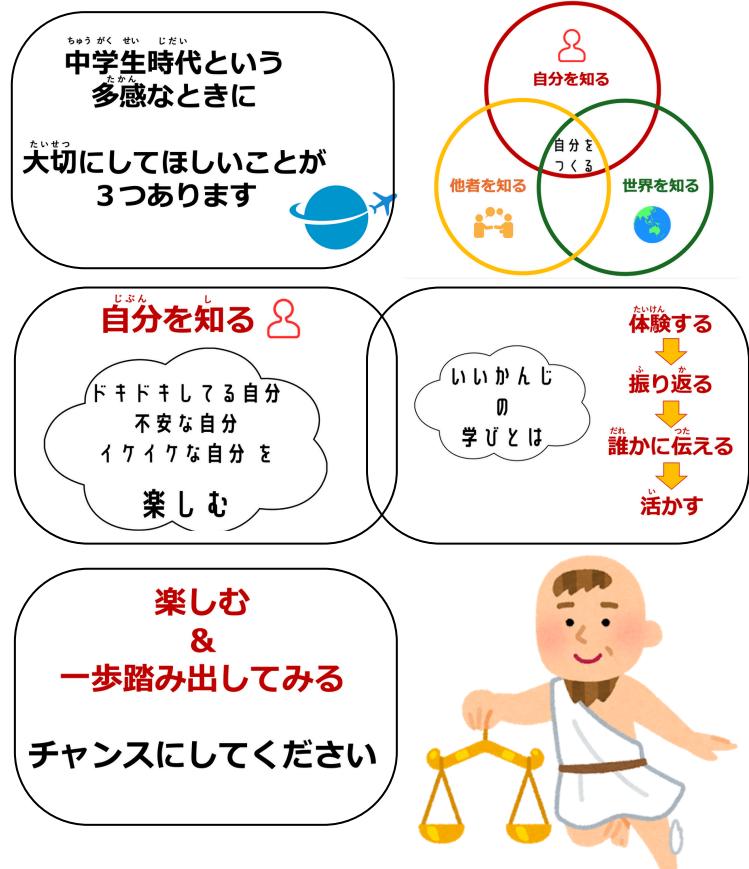
「磐梯町語学教育交流事業説明会」で中学2年生に伝えたかったこと

5月29日に、磐梯中学校の2年生とその保護者のみなさんに向けて、「第1回令和7年度磐梯町語学教育交流事業説明会」を開催しました。ニュージーランドに向けた語学研修は教育委員会の主催であり、中学生に直接メッセージを伝えることのできる、数少ない機会ですので「磐梯町はなぜこの機会を中学生に提供したいと考えているのか?」ということについてお話をさせていただきました。

まず、中学生という多感な時期に「自分を知る」「他者を知る」「世界を知る」という3つのことを大切にしてほしいと思っています。その中でも、見知らぬ土地に行き、経験したことのない文化に触れ、多様な人たちと関わる環境に身を置くことは、「自分を知る」とてつもなく大きなチャンスです。このチャンスを、是非とも逃してほしくないし、むしろ不安に思ったり、ドキドキしている自分さえも大切にし、楽しんでほしいな、と思っています。

「チャンスの神様は前髪しかない」と言います。つまり、目の前に現れたチャンスは、その時に掴もうとしないと、後ろから追いかけても後ろ髪がないため「掴むことができない」というお話です。前髪しかない神様なんて、想像するとよつと笑ってしまいますが、チャンスをチャンスと思えるか?ということを私たちは問われているように思います。

もちろん、一度のチャンスを逃したって、またチャレンジする機会はめぐってきます。ただし、やらない後悔より、やってみての後悔の方が、次のチャレンジにつながっていくのではないかと思います。



学校選択制・学校見学相談会に向けて、ガイドブックをつくりました

6月に第一小学校と第二小学校で学校見学相談会が実施されます。実施に伴い、それぞれの学校の特色や、今現在取り組んでいることなどを整理したガイドブックも作成しました。ぜひとも気軽に見学にいらしてください。

学校見学相談会へのお申し込みは6月16日までとなっています。お問い合わせは、磐梯町教育委員会・教育再デザインセンターまでご連絡ください。(0242-74-1216)



地域活性化企業人として新しい仲間が参画します

磐梯町教育委員会がどんなことに取り組み、どんな成果を出せているのかを広く知ってもらうと同時に、何ができる、何が課題なのか?をきちんと整理するために、地域活性化企業人(副業型)として土岐幸司(ときこうじ)さんに仲間になっていただくことになりました。目標を立て、実施し、振り返り、次に活かしていくために、点検評価の仕組みをつくります。どうぞよろしくお願ひいたします!



小学校で運動会が開催されました

前日の雨により1日延期となりましたが、5月18日に無事第一小学校・第二小学校共に運動会が開催されました。運動会日和で気持ちの良いお天気の中大盛り上がる運動会となりました。



「響」と「月待ちの灯り」へのご来場ありがとうございました

5月3日「響HIBIKI」(赤枝彼岸獅子舞・下柴獅子団・天寧獅子保存会)、5月24日・25日「月待ちの灯り」を開催しました。たくさんのご来場ありがとうございました。



磐梯大学が今年も開校しました！

5月8日に本年度の磐梯大学開校式を開催しました。当曰は教養講座「健腸長寿と免疫講話」が行われ、5月他に「宮大工から見る神社仏閣の話」「陶芸ろくろ体験」が行われました。ご参加ありがとうございました。



小学校にバスケットボールの寄付をいただきました

5月17日に、マコト精機様と福島ファイヤーボンズ様 バスケットボール寄贈式が行われました。第一小学校にボール10個、第二小学校にボール5個とカゴが無事寄贈されました。ありがとうございました。



こども園開園準備検討委員会が再開

実施設計を進めていくために、検討委員会が5月21日から再開いたしました。細かいところまで話し合って決めてまいります。



英検が公民館で実施されました

今年度から運営を教育委員会がおこなうことになり、中央公民館を会場にして、5月24日に第1回英語検定を実施しました。第2回は10月5日ですので町民のみなさまもぜひチャレンジしてみてください。運営ボランティアにご協力くださいましたみなさま、ありがとうございました！



「私たちは専門職なのだから…」

先日、幼稚園に保育の専門家である大学の先生がいらしてくださいました。今年度から取り組んでいる「じぶんでえらぶ」「じぶんをつたえる」「だれかとつくる」を重視した保育を進めるにあたって、色々な視点からご指導いただいたり職員のみなさんと対話を進めてくださいました。私もランチをご一緒しながらお話をさせていただいたのですが、「私たちは専門職なのだから学び続けないとね」と

力強くおっしゃる場面がありました。教員も保育士も教育に関わる人たちは「専門職」であると私も思います。子どもたちを預かり、共に育つ場をつくっているのだという自覚を持ちながら働くことができているだろうか。そして、自分の経験してきたことや思い込みだけでなく、広い視野を持って積極的に学ぼうとしているだろうか、と自身に問いかける良い機会となりました。